

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 120205

## 基礎看護方法論Ⅳ Basic Nursing Skills Ⅳ

担当教員	中田 弘子 林 静子 田村 幸恵 三輪 早苗 中嶋 知世 丸岡 直子				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	看護過程				
学習目的・目標	【学習目的】 1年次の学びを土台に、よりよい看護を提供するための看護過程の展開を具体的な事例（ペーパーベシメント）を通して習得する 【学習目標】 1. 事例の情報から、対象の看護の必要性がアセスメントできる 2. 看護上の問題を明確にすることができる 3. 看護計画の立案ができる 4. 看護計画の一部の実施、評価ができる				
授業計画・内容					
回	内容				
1～7	1. ガイダンス 2. 看護過程の展開（事例1） 1) 事例の紹介 2) 情報の解釈、分析 3) 看護上の問題の明確化 4) 看護計画の立案 5) 実施および評価				
8～15	2. 看護過程の展開（事例2） 1) 事例の紹介 2) 情報の解釈、分析 3) 看護上の問題の明確化 4) 看護計画の立案 5) 模擬患者（Simulated Patient : SP）の参加による看護計画の実施および評価				
教科書	茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3、医学書院 薄井坦子著：何がなぜ看護の情報か、日本看護協会出版会 プリント配布				
参考図書等	薄井坦子著：科学的看護論 第3版、日本看護協会出版会 本郷 久美子翻訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版、医学書院				
評価指標	課題提出：90%、授業への参加状況：10%				
関連科目	看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 人間機能学 人間病態学 疾病障害論 臨床薬理学 臨床栄養学 フィジカルアセスメント等				
教員から学生へのメッセージ	基礎看護方法論Ⅳは、看護学実習に向けた看護過程の基本的な頭づくりの科目です。看護に必要なアセスメントでは、看護の基本分野だけでなく健康・疾病・障害の理解の授業等で学習した知識の統合が必要となります。				